

2009年5月5日

日立メディコ、MRIを増産 高級機の引き合い増える

日立メディコは磁気共鳴画像装置(MRI)など画像診断装置を増産する。数億円を投じて主力工場の設備を強化。高級機の生産量を順次増やす。世界的な経済不況で病院の設備投資も低迷しつつあるが、患者の負担を減らせる最高級機種を引き合いが国内外から強まっているのに対応する。MRI事業の売上高を2009年度に08年度比1割増の385億円に拡大する。

柏事業場(千葉県柏市)に組み立て設備や製品検査装置を導入する。MRIの最高級機種を昨年、米国で発売。今年からは日本・欧州市場にも投入しており、09年度の販売台数は昨年度比2倍を見込む。同社は生産コスト削減のため、今夏にMRI生産量の3分の1を占める汎用機の生産を柏事業場から中国工場に移管する方針。移管後に空いたスペースで高級機を生産する。

日経NET